

第6回

ブルーライトアップ 高島城

しょう かんじょう かんがえよう



長野県発達障がい者支援
シンボル・マーク「結」

毎年4月2日は国連が定めた

世界自閉症啓発デー

2013年4月2日世界自閉症啓発デー、日本で初めて全国規模でのライトアップブルーが行われました。ライトアップブルーは、世界中が想いを一つにしてランドマークなどをブルーにライトアップし、自閉症の応援をするというキャンペーンです。

日本でも世界自閉症啓発デー日本実行委員会が組織され、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間としてシンポジウムの開催、東京タワーブルーライトアップなどの活動を行っています。

諏訪市においても今年で6回目の高島城が美しいブルーに染まります。

「ブルーライトアップ高島城2018」をきっかけに、より多くの方が自閉症をはじめとする発達障がいについて知っていただく機会になればと願っています。

※ 日時 : 平成30年 **4月2日**(月)

16:30~19:30 ライトアップは21:00まで

※ 場所 : 高島城及び高島城公園天守閣下

※ 駐車場は 諏訪市役所 をご利用ください
※ 雨天の場合 諏訪市総合福祉センター 3F 交流ひろば
(湯小路いきいき元気館)

※ 参加費 : 無料

※ 内容 : 16:30 ミニコンサート ハッピーブルーライブ パート I

18:00 点灯式(カウントダウン)

18:30 ミニコンサート ハッピーブルーライブ パート II

何か青いものを身につけてくれるとうれしいな。真冬の防寒対策してきてね。



お茶や風船のサービスもあるよ!

ライトアップ委員会ではライト・イット・アップ・ブルーの活動を推進しています。国連の定めた4月2日世界自閉症啓発デーに

- ブルーの洋服を着用したり
- ブルーの小物を身につけたり、
- ブルーの物を飾ったり

することで、どなたでも活動に参加していただくことができます!

皆さまのご参加は、世界中の参加者とつながっています。その風景を、ライトアップ委員会あてにお寄せください! 世界へと発信したいと思います。(Facebook への投稿やメールにてお寄せください)

パートナー ライトアップブルーJapan2018実行委員会

共催 びゅうプラザ諏訪駅 LIUB すわまちくらぶ LIUB

後援 長野県 長野県教育委員会 長野県自閉症協会 諏訪市 諏訪市教育委員会 諏訪市社会福祉協議会

諏訪地域障害者福祉自立支援協議会 岡谷市 岡谷市教育委員会 茅野市 茅野市教育委員会

富士見町 富士見町教育委員会 下諏訪町 下諏訪町教育委員会 原村 原村教育委員会 諏訪広域連合

信濃毎日新聞社 長野日報社 市民新聞グループ LCV (順不同)

協力 すわまちくらぶ ふおれすと 駅前みんなの広場 スカイシープロジェクト 長野電鉄 アルピコ交通

応援してくださる皆様 長野県信用組合諏訪支店 WAKUWAKU すたじお いずみ屋 スワテック建設 おおぜいの皆さま

この事業は『赤い羽根共同募金』団体配分の助成を受けて実施しています。



青でつたえたい 私たちの想い。

《世界自閉症啓発デーとは》 国連総会（H19.12.18開催）において、カタル王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」（World Autism Awareness Day）とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

わが国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っています。

具体的には、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催やランドマークのフルライトアップ等の活動を行っています。

《ライトアップ委員会とは》 2013年世界自閉症啓発デーブルーライトアップ高島城を契機として発足。『まちの中で』をテーマに自閉症をはじめとする発達障害に対する啓発活動を、年間を通じて行っています。（活動内容：世界自閉症啓発デーブルーライトアップ高島城、まちなかでのアート展、クリスマス交流イベント、発達障害サポーター養成講座ほか）

《「自閉症」ってなあに？》 自閉症は発達障害の中の一つです。自閉症の原因は、けして親のしつけの問題や、本人の性格の問題ではなく、脳の機能的な障害だといわれています。いまのところ、医療的に治すことはできませんが、周りにいる人とのかかわりや支援で成長し、穏やかに暮らしていくことができます。

《こうしてもらえると助かります》

- 会話力苦手なひとには・・・その人が知っている言葉を使って・わかりやすい説明を。
写真や絵を使って説明するとわかりやすいです。
- 大きな音・人がたくさんいる場所・強い光が苦手なひとには・・・安心できる環境になるように気配りを。
- 新しいこと・いつもと違うことに不安で混乱してしまう人には・・・次にすることを前もって知らせておくことと安心です。



＝英国でのちょっといい話＝

先日のニュースで『長野県における発達障害児童数が、過去最高になった。』と報道されました。全国的にも発達障害児童数は増加傾向のようです。少子高齢化が進む中、何故か発達障害児童数は増えてきております。診察技術、判断基準の進化もありますが、児童数に占める割合は確実に増えているのは事実のようです。

今から3年ほど前に英国出張で宿泊したホテルで、素晴らしい光景を目にしました。その日は英国での仕事を終え、日曜日という事も遅めの朝食をホテルレストランで食べ始めているときでした。レストランは私たちの他にも10名ぐらいのお客さんが居ました。

そこへ、障がいのある子供たちとサポートメンバーが多数朝食にレストランに入ってきました。静かだったレストランは急にガヤガヤと賑やかになり、席に座ってられず歩き回る子供や、奇声を発する子供たち。でも、今までいたお客さんは誰一人として、嫌な顔一つしません。食事中に、いきなり大きな声であいさつされても笑顔であいさつを返してくれます。ホテルの従業員の皆さんもピュフェスタイルの料理の側に立ち、『どれ食べたい？』と障がい児にやさしく話しかけ、またお客さんも自然に子供達に寄り添ってくれているのです。

日本でも、発達障害への理解は少しずつ広がってきています。しかし、頭では理解できても実際の場面でどうすればよいか。と考えていただけている方々も多いと思います。ぜひ行動してみてください。優しく接すれば優しく伝わります。決して特別な人達ではありません。そして、発達障がいと診断された人たちも、その家族の人たちも、安心して生活できるような日常をつくって行きたいと思えます。

こぶしの会（長野県中信地区自閉症親の会） 中村裕之

わたしたちは、ライトアップブルーキャンペーンを通じて、
誰もが暮らしやすい社会になることを願っています。

＝落としたハンカチをさりげなく拾って戻すやさしさを＝

主催 世界自閉症啓発デーライトアップ委員会 Facebook 「ライトアップ委員会」
E-mail light.up.committee@gmail.com

この事業は『赤い羽根共同募金』団体配分の助成を受けて実施しています。

